

計画2 教科書を活用しながら独自の題材で授業を行う例

年間指導計画は、生徒の実態や住んでいる地域の実情に合わせて考えるとよい。

以下に、光村図書「美術」教科書を活用しながら、独自の題材を展開した例を示した。

●第3学年

第3学年では、これまでの学校生活を振り返りながら、自分の独自の表現を追求していくことができるよう、最初の題材と最後の題材で深く自分自身を見つめる題材が設定されている。また、表現・鑑賞ともに、自分自身が住む地域と美術との関わりに気づくことができるよう配慮されている。中学校の第3学年が美術の学習をする最後の機会となる生徒もいるだろう。最終学年を迎えた生徒の実態や、前学年までの学習内容に合わせて計画するとよい。

第3学年 年間35時間	
3学期制の場合	1学期：12時間／2学期：14時間／3学期：9時間
2学期制の場合	前期：18時間／後期：17時間

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ
前期 (18時間)	8	絵や彫刻など [つくる活動]	15歳の 存在証明	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書に掲載されている自分をあらわす作品を鑑賞し、美術にはさまざまな表現方法があることを確認する。 ○マッピングなどを使って今の自分を分析し、現在熱中していることや、思い入れのあるものなどから自分をあらわす形を考え、主題を生み出す。 ○主題をもとに、作品の構想を練り、教科書の巻末資料を参照しながら適切な材料を選択し、表現する。 ○完成した作品を鑑賞し合い、自分が作品に込めた思いを発表する。 	今の自分、 これからの自分	44～47
					発想を広げる	76～77
					金属でつくる	82
					石でつくる	83
前期 (18時間)	3	デザインや 工芸など [描く活動]	学校宣伝 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスターのデザインや、ウェブのデジタルコンテンツなどを調べ、そこで伝えているメッセージを理解するとともに、学校を宣伝するのに相応しいコンセプトをまとめる。 ○発想したコンセプトに沿って、使うメディアを考え、アイデアスケッチをする。写真などを撮影して取り入れてもよい。 	メッセージを伝える	56～59
					写真や映像を 撮影する	78～79
					映像で広がる世界	80～81
2学期 (14時間)	6	絵や彫刻など [描く活動]	ビジュアル・ イリュージョ ン	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞作品から錯視について学び、「学校の中に異空間をつくる」というテーマで、グループでトリック作品の制作に向けた構想を練る。 ○トリックが、人と作品とカメラのアンクルを使った表現であることを理解し、視点を決めて、模造紙にコンテで描く。 	あれ？ どうなっているの	20～21
					レオナルドと その時代	10～15

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ
後期 (17時間)	2 学期 (14時間)	6 デザインや 工芸など [つくる活動]	リメイク・デザイン ～新たな命を与える～	○使い捨てが多い社会について考え、リサイクルの大切さを知る。思い入れがあっても使うことのできなくなったものに新たな価値を与えることができないか考える。	みんなのためのデザイン	62～63
				○鑑賞作品から、作者の意図や表現の工夫を考える。同じ材料を使いどのようなリメイクが可能かを考える。	材料の可能性	84～85
	2	鑑賞	受け継がれる形と 思い	○法隆寺五重塔など、教科書に掲載されている日本の世界文化遺産を鑑賞し、なぜそれが現在まで受け継がれてきたのか話し合う。 ○世界文化遺産の建築物を一つ取り上げ、その建築物の特徴や工夫された点を調査し、発表する。	日本の世界文化遺産	100～101
	3 学期 (9時間)	6 デザインや 工芸など [つくる活動]	私の街の公園	○自分の住む地域の現状を調査して、どんな公園があるとより暮らしやすくなるかを考える。	地域の魅力を伝える	70～73
				○地域に必要な公園のデザインを考え、環境模型をつくる。	心安らぐ場をつくる	74～75
		3 絵や彫刻など [描く活動]	記憶に残した 風景と言葉	○中学校生活の中で記憶に残る場所とその理由について考え、実際に見て回りながら撮影場所の選定を行う。 ○アングルや、光の状況を踏まえ、カメラで撮影しながら構図を練る。 ○撮影した写真を、撮影した場所への思いとともに発表する。	風景に思いを重ねて 写真や映像を 撮影する	6～9 78～79